

南海トラフ対策特別委員会会議録

令和8年1月23日

場 所 第4委員会室

令和8年1月23日(金曜日)

午前9時56分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書骨子(案)について
 2. 次回委員会について
 3. その他
-

出席委員(10人)

委員	長	福田	新一
副委員	長	松本	哲也
委員		中野	一則
委員		日高	博之
委員		川添	博
委員		荒神	稔
委員		山口	俊樹
委員		下沖	篤史
委員		工藤	隆久
委員		脇谷	のりこ

欠席委員(なし)

委員外委員(なし)

事務局職員出席者

政策調査課主査	吉浦	亜季子
政策調査課主任主事	原田	智史

○福田委員長 それでは、ただいまから南海トラフ対策特別委員会を開会いたします。

本日の委員会の日程についてであります。お手元に配付の日程(案)をご覧ください。

本日は委員協議のみとなっております。

まず、2月定例会でお渡しすることになります。委員会報告書の骨子(案)について御協議

いただき、その後、次回委員会について御協議いただきたく存じます。

このように取り進めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 それでは、さっそく委員協議に移りたいと存じます。まずは、協議事項(1)の委員会報告書骨子(案)についてであります。

前回の委員会におきまして、中間とりまとめとして、委員の皆様からの主な御発言を記載しましたA4の資料を配付させていただきました。

今回、現在までにいただいた御意見を参考にして、正副委員長で委員会報告書の骨子(案)を作成し、事前に配付させていただいております。

それでは、報告書骨子(案)をご覧ください。

ローマ数字Ⅱの「調査活動の概要」につきましては、当委員会のこれまでの活動内容を体系的に整理し、章立ていたしました。

具体的には、1. 被害想定に関する事、2. 地震対策に関する事、3. 津波対策に関する事、4. 避難に関する事とございまして、大きく4項目に分けた形で、現状と課題について、ローマ数字Ⅲの「提言」で、委員会としての意見を記述し、ローマ数字Ⅳの「結び」で、全体を総括したいと考えております。

ここで、暫時休憩いたします。

午前9時57分休憩

午前10時11分再開

○福田委員長 委員会を再開いたします。

委員会報告書骨子(案)の説明は以上ですが、委員の皆様からの御意見はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 特にないようですので、委員会

報告書骨子（案）については、資料のとおりで
よろしいでしょうか。

ます。
午前10時13分閉会

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**福田委員長** それでは、この委員会報告書骨子（案）をもとに、委員会報告書（案）を作成してまいりたいと存じます。

委員会報告書については、外国人材確保・雇用対策特別委員会の分と併せて合冊し、2月定例会の最終日に議場で配付する予定です。

作成は、正副委員長に御一任いただき、案ができあがりましたら、印刷のスケジュールの関係もありますので、個別に御了解をいただきたいと考えております。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**福田委員長** それでは、そのような形で進めさせていただきます。

次に、協議事項（2）の次回委員会についてです。

次回の委員会は、2月定例会中の、3月17日火曜日、午前10時から開催予定です。次回委員会では、委員長報告の案について、御協議いただきたいと存じます。

次回の委員会について、何か御意見等はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**福田委員長** 特にないようですので、今回は、委員長報告（案）について御協議いただきたいと存じます。

最後になりますが、協議事項（3）のその他でございますが、委員の皆様から何かございませんか。

先ほどもお伝えしたとおり、次回の委員会は、3月17日火曜日、午前10時からを予定しております。

それでは、以上で本日の委員会を閉会いたし

署 名

南海トラフ対策特別委員会委員長 福 田 新 一